

サステナビリティ

Sustainability Society

社会

製品・サービスで社会課題を解決する

私たちは「お風呂は人を幸せにする」を創業の原点に、その思いを受け継ぎながら事業活動を進めており、製品・サービスを通じて社会課題解決に努めています。特に高齢化が進む社会で問題となる入浴事故の低減や、共働き世帯の増加が進む中で家事の負担軽減など、時代のニーズに応じた商品の提供を進めています。毎日使う商品だからこそ、これからもその時代の社会課題に向き合っていきます。



サプライチェーンマネジメント — CSR 調達の促進

ノーリツグループはすべての仕入先様との連携により社会課題を解決し、世界中で選ばれ続ける企業へと成長します。



仕入先さま 企業 社会
トリプルウィン調達

ノーリツグループは、「トリプルウィン調達」(仕入先様、企業、社会のウィン)を実現するため、最終ブランドメーカーとして、すべての仕入先様と双方向のコミュニケーションを通じてCSR調達活動に取り組んでいます。CSR調達ガイドラインの遵守要請やSAQ*などを通じた人権・児童労働・紛争鉱物などの実態把握を行っています。
* 国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン版SAQ (Self Assessment Questionnaire)

人権尊重の取り組み

事業活動に関わる全ての人々の幸せを目指します。

国際基準*をもとに「ノーリツグループ人権方針」を定め、人権尊重に取り組んでいます。全ての方々に安全で安心してノーリツとお付き合いいただけるよう、あらゆるガイドラインや制度の整備、取り組みを行っています。また、従業員への人権教育や社内外の通報窓口の設置など、モニタリングの仕組みも整えています。
* 世界人権宣言、国際人権規約、ILO中核的労働基準、国連グローバル・コンパクト、国連ビジネスと人権に関する指導原則など

障がい者雇用と自立支援の取り組み

障がいのある従業員が活躍できる職場づくりで、「多様性のある風土づくり」と「企業の社会的責任」を果たしていきます。

当社の特例子会社エスコアハーツは2017年から「障害者活躍企業」の認定を受け、さまざまな事業展開で職域・職能を開発し、多数・定着雇用に取り組んでいます。2015年には就労継続支援A型事業所として株式会社すまいるハーツも設立しました。また、事業を通じて社会課題を解決することを目的に、障がい者福祉施設に廃給湯器を分解・リサイクルする業務を委託しています。なお、グループ会社の(株)カシマは、2019年に障がい者を積極的に雇用する事業所に対して表彰される「障害者雇用優良事業所 高齢・障害・求職者雇用支援機構 理事長表彰」を受賞しています。



障がい者の活躍推進に取り組む国際イニシアチブ「The Valuable 500」に加盟

社会課題解決型商品の開発・普及 — 社会課題解決型商品の提案・拡販

■ 超高齢社会に伴う入浴事故を軽減

超高齢化社会に伴う介護現場の負担を軽減します。

●2013年の入浴中の急死者数推計 19,000人*



スマートフォンでも確認可能

ノーリツが解決!

日本気象協会とコラボ「おふる予報」で入浴の注意喚起

いつものおふるがもっと楽しくなる、ココロとカラダをほぐすバスタイムに役立つ情報を発信するアプリ「おふるのじかん」のサービスを開始し、その中で日本気象協会とコラボした「おふる予報」を提供。気象情報を基に熱中症やヒートショックの危険度に対する予備暖房の利用など、安全な入浴方法についての提案や注意喚起を行っています。



https://ofuro-time.noritz.co.jp/

日本は国民の4人に1人が高齢者であり、その割合は今後も増加の一途をたどります。一方で労働力は減少しており介護者の負担が社会問題となっています。当社では昨年、サービス付き高齢者住宅などの入居者が各部屋で入浴する「個浴」向けに、おふるの遠隔「見まもり」機能を搭載した業務用給湯器を発売しました。今後は、複数のセンサーにより居室内の状況を検知し居室全体の「見まもりシステム」を提供するヘルステック企業とも提携してサービスの拡充を図り、介護者の負担を軽減しながら、安全・安心な入浴環境を提供し、社会課題解決に努めます。

* 入浴関連事故の実態把握及び予防対策に関する研究

■ 感染症拡大による除菌ニーズに対応

99.9%の除菌性能
キレイで安心な入浴を実現します。

2020年に発生した「新型コロナウイルス感染症」により、世界的に除菌への意識が高まっています。ノーリツでは99.9%*以上の除菌性能のUV除菌ユニットを搭載したキレイで安心な入浴をサポートする次世代給湯器を開発・販売しています。



* 試験機関：衛生微生物研究センター試験番号：28D-BT-019試験方法：UV除菌ユニットを通過前後の試験液の菌数を測定。流量9.5L/min。試験結果：99.9%以上除菌(実使用での実証効果ではありません。使用環境により効果は異なります。)

■ 共働き世帯の増加に伴う家事負担を軽減

「ラク家事」を提案
手軽に本格的な調理を実現します。

ノーリツの「マルチグリル」はこれまで蓄積した技術と安全・安心のノウハウを応用して誕生しました。お手入れのしやすさはもとより、グリル内部にある温度センサー付き下火バーナーで専用容器底面の温度を正確に検知し、メニューに合わせた火加減を自動で調整します(特許取得済)。従来のグリルにはできない多彩な調理が可能になりました。



ノーリツグループは、これからも便利で楽しい「ラク家事」を提案していきます。

Voice | IoT技術などテクノロジーを駆使し、社会全体で優しく高齢者を支える環境へ

2025年には高齢者が3人に1人になると言われている超高齢化社会での社会課題解決として、サービス付き高齢者住宅(サ高住)など高齢者施設へテクノロジーを活用したデジタル化・可視化システムを提供しています。浴室は死亡事故が多いにもかかわらず、「湿度が高い」「コンセントがない」などの理由でセンサー設置が困難でしたが、ノーリツは、すでに家庭用給湯器の見まもり機能で実績があり、連携することで浴室を含めた施設全体の可視化が実現しました。これまで入浴事故を避ける意味でも、サ高住では共同浴場での入浴が一般的でした。これからは、センサーによる事故予防とプライバシーの保護の両方を重視し、技術革新により施設の個室でもいつでも安心して入浴できる環境のご提供へと選択肢を拡げていきたいと考えています。

小川 誠様
Z-Works代表



サステナビリティ

Sustainability Society

社会

変革、挑戦、創造できる人材を育てる

当社は、従業員を最も大切な資産として捉え、一人ひとりが能力を最大限発揮できる環境づくりに努めています。また、既存事業で収益を上げるだけでなく、新規事業を育成する“両利きの経営”を実現するため、成長するチームを形成し、高い成果を出せる人材を輩出する取り組みを進めています。



従業員コミュニケーション — 企業風土改革・人材育成(イノベーション)

挑戦しつづける組織へ変革するため、従業員との対話を大切に、次世代の人材がチャレンジできる環境を作り、新規事業を生み出します。

■ わかす会議

挑戦しつづける組織へ変革するため、取締役などの経営層と現場のメンバーが方針展開について対話し、成功事例の横展開や困りごと、疑問などを解決するため全国300部署2,262名のもとへ訪れる「わかす会議」を実施しています。上位組織の方針を自らのチームで展開し実行する風土を根付かせ、強いチームへと導きます。

全国 300 部署 2,262 名



■ 新人事制度“パフォーマンスマネジメント”を導入

成果の最大化に向け人事制度改革を行いジョブ型(職責型)を導入、パフォーマンスマネジメントを展開しています。これにより、リアルタイムフィードバックや1on1コミュニケーションを積極的に取り入れ、従業員が同僚や上司と常に期待されているパフォーマンスをすり合わせる事が出来るようになりました。また、目標やコンディション等の情報が可視化される事によって、組織の透明性を高め、納得感のある評価制度に改革しました。

パフォーマンスマネジメント



従業員コミュニケーション — 働き方改革

コロナ禍でも安全・安心に従業員が働き続けられる環境づくりを目指し、インフラ整備やコミュニケーション活性化に取り組みました。

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、新しい生活様式に合わせた働き方に対する当社内の環境整備を進めています。従業員の安全を考慮したテレワーク導入のため、インフラ整備や電子印の導入、契約書類の電子データ化を実施しました。本部スタッフをはじめ、営業、研究開発のメンバーまで幅広く在宅勤務が可能な環境が整い、従前からのフルフレックスタイム制と合わせ、従業員それぞれのライフスタイルや価値観を重視した働き方を尊重しています。また、コロナ禍での従業員アンケートで課題として多くあがった「コミュニケーション不足」に対応するため、労働組合が主体となり、オンライン懇親会の費用補助を行う取り組みを実施しています。



従業員の健康と働きがい

健康的に能力を最大限発揮でき、多様な人材が長く働き続けられる環境づくりを進めています。



当社は従業員の健康に配慮することによって、「経営面においても大きな成果が期待できる」との基盤に立って、健康を経営的視点から考え、戦略的に実践しています。人事総務部と健康保険組合が連携して従業員とその家族の健康的な生活をサポートしています。なお、2021年には、ストレスチェックとあわせて、従業員のワークエンゲージメントをリアルタイムで測るツールも導入し、社員も会社もベストコンディションで企業活動を図る仕組みづくりも行いました。また、充実した福利厚生制度の導入と活用実績が認められ、2021年「ハタラクエール」受賞法人にも選ばれました。

ノーリツ健康宣言

社員が心身ともに元気で、持てる力を最大に発揮することで、新たな価値を生み出し、持続的な成長を図れるよう健康経営を推進していきます。

- 社員一人ひとりが自分の健康づくりを意識し、その維持・促進を図れるよう会社・健康保険組合・労働組合が一体となり支援・サポートします
- 公私の充実と生産性の向上の両立実現に向け、社員一人ひとりにあった働き方を実現できるよう、制度や環境を整備し、風土改革に努めます
- 「新しい幸せを、わかすこと。」を使命とし、人と地球の笑顔に向けて暮しの感動をお届けします

ミッションである「新しい幸せを、わかすこと。」を達成する原動力は、全ての従業員の幸せであり、従業員の心身の健康は働く力の源であると考えています。この考え方のもと、「ノーリツ健康宣言」を行い、従業員一人ひとりが心身ともに元気で、持てる力を最大に発揮できるように取り組んでいます。

Voice | 専属産業医として、従業員の心と体に寄り添う職場環境づくりを

ノーリツの専属産業医として、普段から従業員の皆さんが健康で快適な作業環境のもとで仕事が行えるよう専門的立場からサポートをしています。昨年から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響で当社も多くの従業員がテレワークなどで人と人の接触を避けてきました。しかし製造の現場では感染対策をしながら出勤を続けてきました。少しでも安心して業務に従事してもらえるように、立ち上げた「チーム ワクチンJ」は、職域接種分のワクチン確保が二転三転する中でも、強い意志をもって接種を完了しました。初めてのことに慣れた職場で見つけたメンバーでの接種は不安を和らげる効果もありました。今後も従業員の心と体に寄り添い、いきいきとした職場環境づくりに貢献していきます。

安福 宇希
人事総務部
人事労務グループ
産業医

